

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

# 第8回 研究発表会

## 11月6日

日時：2016年 11月6日（日）

午後2：00開演（1：30開場）

会場：東京藝術大学5-109大講義室



### 坂室 奈緒

東京音楽大学を経て、同大学大学院音楽教育専攻ソルフェージュ研究領域修了。在籍時、福士則夫、伊藤節子、糀場富美子、荒尾岳児、岡島礼の各氏に師事。2014年東京音楽大学ピアノ学内卒業演奏会、東京音楽大学校友会千葉県支部第8回新人演奏会出演。これまでにピアノを平井裕子、星子知美、藤田尚、須藤昌子、小高明子の各氏に師事。現在、演奏活動を行う傍ら、後進の指導にあたる。

### ◆音程感覚育成のための学習法

～ Ear Training の側面から～

アメリカの多くの音楽学校において行われている「Ear Training」は、音楽の基礎能力を高めるための授業である。その中でも音程感覚、すなわち相対的に音高を把握する能力の育成は重要な位置を占めている。本発表では、和声的な響きに対する意識を高める手段として、音程感覚に着目した指導の有効性について述べる。



### 永田 由布子

桐朋女子高等学校音楽科、同大学、東京藝術大学大学院修士課程を経てパリ音楽院、エコール・ノルマル音楽院に留学し、ピアノ、ソルフェージュ、室内楽のディプロマを審査員満場一致で取得、ピアノ伴奏、初見を第1位で修了。これまでに坂井由紀子、江澤聖子、林達也、東誠三、故フランス・クリダの各氏に師事。現在、東京藝術大学大学院音楽研究科音楽文化学専攻ソルフェージュ研究領域博士課程に在籍し、照屋正樹、ローラン・テシュネ、大矢素子、野平一郎、山下薫子、岩崎真の各氏に師事。桐朋学園大学音楽学部附属子供のための音楽教室講師。

### ◆合唱を活用したフォルマシオン・ミュージカル

～和声的な音程感覚の育成を目指して～

本研究の目的は、合唱により、相対的に音程を取る能力および音高に対する鋭敏な感覚を養うことである。2つ以上の音が同時に鳴る「和声的な音程」に着目した音程練習およびギョーム・ド・マショー Guillaume de Machaut (1300頃-1377) の《ノートルダム・ミサ Messe de Notre Dame》を題材としたフォルマシオン・ミュージカルを用いて、能動的な聴覚の形成および調和感覚の育成を図る。



### 二宮 洋

1950東京生。東京芸術大学作曲科卒、同大学院修了後、同校ソルフェージュ講座非常勤講師を経て、1981東海大学教養学部芸術学科音楽学課程に奉職。同年～2003芸大附属音楽高校講師、1993～2015慶應大学講師。1994～95東海大学海外研究派遣計画で渡仏、IRCAMとパリ国立高等音楽院にて研究。2002～07東海大学教養学部長、2008～13同大学院芸術学研究科長等を歴任、現在、同大学特任教授。演奏表現学会理事長。2013～現在米国研究者らと連携し、バッハ再考講習会の実行委員長として夏期開催。

### ◆ソルフェージュ教育に何を見出すか

～内面育成へ基本的方向性～

ソルフェージュは音楽実技実践の基礎として、ともすると即物的に技術的な外面を形作ることへ傾きがちである。表現とは、人の内面にあるものを表に現すことに他ならない。ソルフェージュ教育でも、外面を形作るのではなく、内面にある想念を明確にすることが何より肝心といえる。そのためのソルフェージュ教育の基本的な事例を上げながら、考察していく。基礎だからこそ、より深く音楽表現の本質が根幹になければならない。

### ▼入場料：

一般 1,000円

学生 500円

賛助会員(個人) 500円

(会員無料)

一般での入場で希望の方は、チケットを発行していませんので、開場時間～開演の間に直接受け付けにお越し下さるようお願い致します。(予約の必要はありません)

### ▼問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567

E-mail: ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

